



新着図書案内



2025年11月30日

分類番号	書名	著者名	出版社	発行年
371.3	とびこえる教室 :フェミニズムと出会った僕が子どもたちと考えた「ふつう」	星野俊樹 著	時事通信社	2025.6
371.3	学校の「男性性」を問う :教室の「あたりまえ」をほぐす理論と実践	大江未知 虎岩朋加 ほか著	旬報社	2025.7
368.64	私のからだは私のもの よりかからない生き方	平井美津子 著	高文研	2025.7
159.6	:夢もキャリアも叶える「ライフデザインブック」	大田原裕美 著	評言社	2025.7
K36	わたしの体におこること なんでもガールズトーク!	イダ 作	借成社	2025.7
520	建築というきっかけ	永山祐子 著	集英社	2025.8
281	昭和100年の100人 女性篇		文藝春秋	2025.8
916	欲しがりません勝つまでは わたしたちを阻むもの	田辺聖子 著	光文社	2025.8
495	:女性が抱える生きづらさの根源	対馬ルリ子 著	青月社	2025.9
367.155	産む自由/産まない自由 :「リプロの権利」をひもとく	塚原久美 著	集英社	2025.9
367	多様な視点からジェンダーを見る :東大オムニバス講義13講	林香里 監修	東京大学出版会	2025.9
367.5	入門 男らしさの歴史	弓削尚子 著	筑摩書房	2025.9
367	なぜ男女格差はなくなるのか	田中世紀 著	講談社	2025.10
302.1	単身リスク:「100年人生」をどう生きるか 本当にやる!できる!必ずやる!	山田昌弘 著	朝日新聞出版	2025.10
K/E	:アイスランドの女性の休日	リンダ・オウラヴスドッティル 著	ゆぎ書房	2025.10
367	女らしさと支配:抑圧をめぐるフェミニズム哲学	サンドラ・リー・バートキー 著	慶應義塾大学出版会	2025.10
367.5	名著でひらく男性学:(男)のこれからを考える	杉田俊介 西井開 ほか著	集英社	2025.10
367.19	上野さん、主婦の私の当事者研究につきあってください	上野千鶴子 著	晶文社	2025.11
913.6	うまれたての星	大島真寿美 著	集英社	2025.10
913.6	スイッチ・ライフ	夕鷺かのう 著	朝日新聞出版	2025.10
913.6	さよならジャバウォック	伊坂幸太郎 著	双葉社	2025.10
159	老いのレッスン	内田樹 著	大和書房	2025.9
913.6	翠雨の人	伊与原新 著	新潮社	2025.7



とびこえる教室
フェミニズムと出会った僕が子どもたちと考えた「ふつう」
星野俊樹/著(時事通信社)



男子が散らかし、女子が片づける。それを大人たちが教室の「自然な日常風景」と看過する。――ずっと「生きづらさ」を抱えてきた教師は、学校に潜む性別役割分担に疑問を持ち、子どもたちに「ふつうとは何か?」を問い続ける。

上野さん、主婦の私の当事者研究につきあってください
上野千鶴子/著(晶文社)



社会学者にして日本を代表するフェミニスト・上野千鶴子と、三人の子を育てる普通的主婦・森田さち。主婦が自らの人生を振り返り「なぜ私はいつも生きづらかったのか?」と問い、社会学者がそれに応答する。

老いのレッスン
内田樹/著(大和書房)



大反響!発売即3刷決定!
【人間への深い洞察から導いた、初の「老い論」】
少子化・人口減する日本、カオス化する世界、長寿化による生き方の変化――先行きの見えない現代において、心穏やかに生きるための12のレッスン

欲しがりません勝つまでは
田辺聖子/著(光文社)



昭和十六年、十三歳の筆者は軍国少女であり、文学少女であった。ずっと戦時下にあった女学校時代。美しい上級生に憧れ、中原淳一の絵を愛し、片っ端から本を読み、世界を夢想し、小説を書く毎日。作家が瑞々しく回想する自らの創作の原点と、若い人たちに語り継ぐ「私の戦争」。